



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月3日

上場会社名 株式会社幸楽苑ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7554 URL <https://hd.kourakuen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井田 昇
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 渡辺 秀夫 (TEL) 024-943-3351
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,216	△0.7	△340	—	△61	—	△13	—
2022年3月期第1四半期	6,259	11.2	△492	—	△128	—	△54	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △7百万円(-%) 2022年3月期第1四半期 △40百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△0.86	—
2022年3月期第1四半期	△3.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	13,307	3,599	27.0
2022年3月期	14,143	3,606	25.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,599百万円 2022年3月期 3,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	4.1	△50	—	260	△49.7	130	△61.9	8.64
通期	28,000	11.9	300	—	600	△58.7	260	△30.5	17.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	16,774,841株	2022年3月期	16,774,841株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,731,864株	2022年3月期	1,731,864株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	15,042,977株	2022年3月期1Q	15,035,216株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. その他	9
(1) 継続企業の前提に関する重要事象等	9
(2) 販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年6月30日まで)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染者は減少に転じたものの、ウクライナ問題に伴う資源価格上昇の影響を受け、依然として先行きが不透明な状況で推移しております。

外食産業におきましては、2022年3月にまん延防止等重点措置が解除になりましたが、原材料費を含むコストの上昇により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような経済環境の中、当社グループは、イートイン中心の外食産業からデジタルTechを活用した総合食品企業への変革を目指し「デリバリー、テイクアウト等の中食産業での売上割合を高める施策」や「クレジットカード決済店舗の拡大及び各種電子マネーによる非接触決済の導入によるキャッシュレス決済の推進」等の施策を引き続き推し進めてまいりました。また、商品のブラッシュアップとスタンダードの再確立を最優先課題として商品政策を推進し、グランドメニューの更改並びに一部商品の価格改定を実施いたしました。さらに、固定費管理の徹底等によるコスト削減に積極的に取り組み、収益性の向上に努めてまいりました。このような取り組みにより、全社の損益分岐点が下がり各利益項目すべてにおいて改善しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は6,216百万円(前年同期比0.7%減)、営業損失340百万円(同営業損失492百万円)、経常損失61百万円(同経常損失128百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は13百万円(同親会社株主に帰属する四半期純損失54百万円)となりました。

また、当第1四半期連結会計期間末のグループ店舗数は、440店舗(前年同期比11店舗減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであり、金額については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んで表示しております。

① ラーメン事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による限定営業の影響を受けながらも、ラーメン事業においては、「中華そば」、「中華そばプレミアム」、「餃子極」をコアメニューとしながら、「納豆味噌らーめん」「豆乳らーめん」等の期間限定商品を随時投入しました。

店舗展開につきましては、「幸楽苑 since1954+幸楽苑のからあげ家」に4店舗を業態転換いたしました。店舗数は、直営店395店舗(前年同期比13店舗減)となり、業態別には「幸楽苑」386店舗、「KOURAKUEN THE RAMEN CAFE」1店舗、「幸楽苑 since1954+幸楽苑のからあげ家」6店舗、「幸楽苑の家系らーめんトラック野郎 since2021」2店舗となりました。また、通販ではECサイトのキャンペーンに参加し認知度アップをはかり、売上高は28百万円(前年同期比60.3%減)となり、2021年8月より開始した外販では積極的に新規顧客開拓の提案活動を進め、売上高は2百万円となりました。

この結果、ラーメン事業の売上高は5,569百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

② その他の事業

その他の事業は、フランチャイズ事業(ラーメン業態のフランチャイズ展開)、その他外食事業(洋和食業態の店舗展開)を行っております。

フランチャイズ事業につきましては、店舗数は17店舗(国内12店舗、海外5店舗)となりました。その他外食事業につきましては、「焼肉ライク」直営店12店舗、「からやま」直営店7店舗、「赤から」直営店5店舗、「餃子の味よし」1店舗、「餃子食堂」2店舗、「VANSAN」1店舗となりました。

この結果、その他の事業の売上高は647百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて525百万円減少し、2,636百万円となりました。これは、現金及び預金が202百万円増加し、流動資産「その他」に含まれる未収入金が717百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて310百万円減少し、10,670百万円となりました。これは、建物及び構築物が61百万円、リース資産が110百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて836百万円減少し、13,307百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて414百万円減少し、5,206百万円となりました。これは、未払法人税等が249百万円、流動負債「その他」に含まれる未払金が241百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて414百万円減少し、4,501百万円となりました。これは、長期借入金が264百万円、固定負債「その他」に含まれるリース債務が96百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて828百万円減少し、9,708百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7百万円減少し、3,599百万円となりました。これは、利益剰余金が13百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日公表の連結業績予想から変更はございません。

なお、連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,179,750	1,381,817
売掛金	422,117	402,914
棚卸資産	250,448	282,664
その他	1,309,253	569,091
流動資産合計	3,161,569	2,636,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,034,296	3,972,697
土地	1,363,012	1,363,012
リース資産(純額)	1,733,926	1,623,446
その他(純額)	452,113	419,521
有形固定資産合計	7,583,349	7,378,677
無形固定資産	180,488	173,382
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,524,707	1,483,013
その他	1,694,719	1,637,243
貸倒引当金	△1,380	△1,380
投資その他の資産合計	3,218,046	3,118,876
固定資産合計	10,981,884	10,670,937
資産合計	14,143,453	13,307,425
負債の部		
流動負債		
買掛金	731,524	783,337
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,088,778	1,081,278
未払費用	852,793	828,604
未払法人税等	268,169	18,539
店舗閉鎖損失引当金	33,995	28,133
転貸損失引当金	9,330	4,388
その他	1,636,369	1,462,237
流動負債合計	5,620,962	5,206,519
固定負債		
長期借入金	2,415,456	2,150,761
退職給付に係る負債	283,105	278,913
転貸損失引当金	12,903	11,393
役員株式給付引当金	12,330	12,330
資産除去債務	660,083	664,351
その他	1,531,652	1,383,753
固定負債合計	4,915,530	4,501,504
負債合計	10,536,493	9,708,024

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,988,273	2,988,273
資本剰余金	3,084,016	3,084,016
利益剰余金	△27,274	△40,275
自己株式	△2,394,033	△2,394,033
株主資本合計	3,650,981	3,637,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,791	4,686
退職給付に係る調整累計額	△48,812	△43,266
その他の包括利益累計額合計	△44,020	△38,579
非支配株主持分	-	-
純資産合計	3,606,960	3,599,400
負債純資産合計	14,143,453	13,307,425

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	6,259,973	6,216,874
売上原価	1,739,793	1,686,031
売上総利益	4,520,180	4,530,843
販売費及び一般管理費	5,013,065	4,871,388
営業損失(△)	△492,885	△340,544
営業外収益		
受取利息	3,431	541
固定資産賃貸料	110,182	45,663
新型コロナウイルス感染症による助成金	390,115	332,449
その他	41,023	28,031
営業外収益合計	544,752	406,685
営業外費用		
支払利息	17,572	17,280
固定資産賃貸費用	105,775	42,315
シンジケートローン手数料	36,499	47,572
その他	20,701	20,870
営業外費用合計	180,549	128,038
経常損失(△)	△128,682	△61,897
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	10,266	19,506
収用補償金	31,992	-
賃貸不動産売却益	-	29,749
その他	7,534	11,772
特別利益合計	49,793	61,029
特別損失		
投資有価証券評価損	11,796	17,436
減損損失	11,041	1,101
店舗閉鎖損失引当金繰入額	10,145	-
その他	14,430	2,606
特別損失合計	47,413	21,144
税金等調整前四半期純損失(△)	△126,302	△22,012
法人税、住民税及び事業税	11,740	11,340
法人税等調整額	△83,695	△20,351
法人税等合計	△71,955	△9,011
四半期純損失(△)	△54,347	△13,000
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△54,347	△13,000

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△54,347	△13,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,422	△105
退職給付に係る調整額	15,741	5,546
その他の包括利益合計	14,319	5,441
四半期包括利益	△40,028	△7,559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40,028	△7,559
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(コロナウイルス関連)

新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい経営環境が続いております。当第1四半期連結会計期間においては、既存店の売上高及びお客様数はそれぞれ前年同期比102.2%、103.0%となりました。また、営業損失についても改善の兆しが見えてきております。

しかし、再び国内の感染者数が増加に転じたことにより、感染症の収束時期が明確に見込めないことから、状況は改善するもののコロナ禍の影響は継続すると仮定し、繰延税金資産の回収可能性の判断や固定資産の減損損失の認識要否の判断等を行っております。

3. その他

(1) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2020年2月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大以降、人流の抑制によるビジネス環境や生活様式の変化の影響を受けて売上高が減少しております。当第1四半期連結会計期間において売上高は前年同期比ではほぼ横ばいで推移し、継続して営業損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況に対して、イートイン以外での商品提供の拡充、グランドメニューの見直しや価格改定の実施及び固定費の削減等を実施することにより営業損失を解消させる計画であるとともに、2022年3月31日時点で、総額40億円のコミットメントライン契約を行い、十分な運転資金を確保していることから、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。

(2) 販売の状況

① 品目別販売実績

(単位：千円)

期 別	前第1四半期		当第1四半期		(参考) 前期	
	自 2021年4月1日 至 2021年6月30日		自 2022年4月1日 至 2022年6月30日		自 2021年4月1日 至 2022年3月31日	
品 目	売上高	百分比	売上高	百分比	売上高	百分比
直営店売上		%		%		%
らーめん類	3,100,111	49.5	3,243,043	52.2	12,571,365	50.2
セット類	1,200,930	19.2	1,246,123	20.0	5,005,856	20.0
ギョーザ	467,493	7.5	383,801	6.2	1,517,090	6.1
ごはん類	219,972	3.5	253,292	4.1	889,394	3.6
ドリンク類	93,888	1.5	105,004	1.7	314,387	1.3
洋・和食類	378,772	6.0	374,107	6.0	1,395,464	5.6
その他	643,866	10.3	494,797	8.0	2,764,914	11.0
計	6,105,034	97.5	6,100,170	98.2	24,458,472	97.8
FC店等材料売上	143,997	2.3	105,787	1.7	521,975	2.1
ロイヤリティ収入	10,018	0.2	9,633	0.1	37,962	0.1
その他	923	0.0	1,283	0.0	5,420	0.0
合 計	6,259,973	100.0	6,216,874	100.0	25,023,831	100.0

(注) 1. 数量は品目が多岐にわたり表示が困難なため、記載を省略しております。
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

② 地域別販売実績

(単位：千円)

期 別	前第1四半期			当第1四半期			(参考) 前期		
	自 2021年4月1日 至 2021年6月30日			自 2022年4月1日 至 2022年6月30日			自 2021年4月1日 至 2022年3月31日		
地域別	売上高	百分比	期末 店舗数	売上高	百分比	期末 店舗数	売上高	百分比	期末 店舗数
東北	2,060,139	33.7	141	2,120,606	34.8	139	8,379,734	34.3	139
関東	3,213,450	52.6	241	3,199,697	52.5	233	12,821,324	52.4	233
東海	280,730	4.6	16	239,038	3.9	15	1,065,695	4.3	15
北陸甲信越	449,665	7.4	33	447,105	7.3	33	1,803,036	7.4	33
関西	101,049	1.7	3	93,721	1.5	3	388,682	1.6	3
計	6,105,034	100.0	434	6,100,170	100.0	423	24,458,472	100.0	423

(注) 1. 上記の金額は、直営店売上についての地域別販売実績であります。
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。